隣の仕事場 お邪魔します！

ブログとYシャツと私

ある顧客から届いた一通のメールがきっかけだった。「毎日、ブログを書いてください」

オーダーシャツ販売「金港堂」（金沢市）の宮谷隆之社長（五四）の日課は、十年以上前から続く。ブログにはシャツやネクタイなど新商品の紹介をはじめ、服のコーディネートなど仕事だけでなく、趣味のマラソンの話題が尽きない。一方通行になりがちなツールも、社長の人柄が垣間見えると評判だ。

オーダーの項目は生地に始まり、襟型、カフス、ボタンの種類、背中のタックまで、実に十個以上ある。今では全国から注文が相次ぐ。大ヒットしたNHKの連続テレビ小説「あさが来た」で、ディーン・フジオカさんが着た、襟が取り外しできるシャツなども手掛けてきた。

金港堂　金沢

1932年に創業し、宮谷隆之社長は３代目。上海にわたり、縫製技術を身につけた初代が故郷石川に戻り、シャツ専門店を開業。当時はシャツ以外にも洋品を手広く扱い、かつてはレトロ感漂う現店舗の地下で縫製していた。2007年からホームページでのオーダーシャツ販売を始める。社員は２人。金沢市片町２の１の１。

一九九〇年代。郊外でショッピングセンターの出店が相次ぎ、金沢の繁華街・片町も人が減り、空き店舗が増えた。「差別化しないと生き残れない」。当時、ホームページ（HP）こそあったが、店頭販売が主流の時代。まだ浸透していなかったインターネットにいち早く目を向け、石川県産業創出支援機構（ISICO）が行うネット販売に関する勉強会にも参加。集客対策に知恵を絞った。

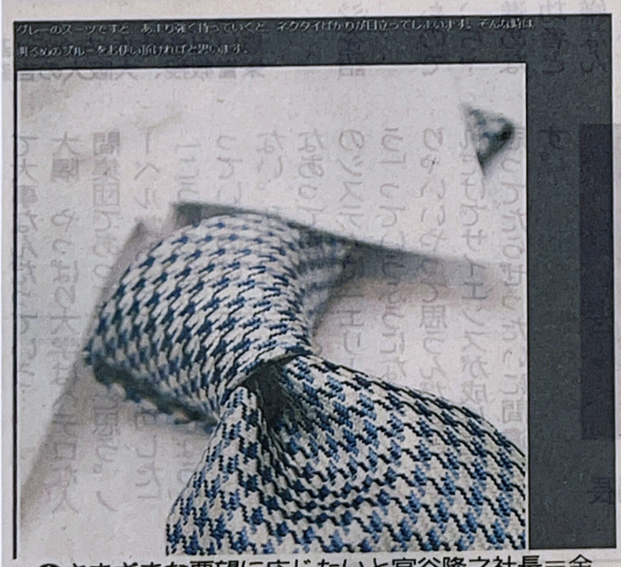
あれこれ試行錯誤し、行き着いたのが今の販売方法。綿でも張りがあって、しわになりにくい―といった高品質の生地の魅力を、ブログでも分かりやすく伝えた。一度着れば、病みつきになるフィット感などは、低価格商品や量販店にはない強み。丹念な採寸方法や長年積み重ねてきた縫製技術などもあった。

「古いことが古くさくなっては駄目」。宮谷社長のファッション観は、仕事観にも通じる。「シャツだけでなく、全体の色合わせ、コーディネートを楽しんでもらいたい」。その思いも、異業種と手を取り合い、魅力を発信していく企業精神のようにも映る。

ネットでの商取引とはいえ、顧客が仕様を決めるため、「客とのやりとりは実際の店舗と変わらない」という。メールなどのやりとりで、客からあった提案や要望をネット販売にも反映させてきた。ブログを始めたのもその影響だ。

宮谷社長は着丈や好みなどからその人の体形、人物像を浮かべる。「どんな物か分からないものにお金を払うのは本来、リスクがある。だからこそ信頼度を高め、生きているサイトにするためにブログがあるんです」。時代に応じ、販売手法こそ変わっても、根底にあるものは変わらない。

（田嶋豊）



上さまざまな要望に応じたいと宮谷隆之社長＝金沢市片町で　下毎日更新される社長のブログから。コーディネートの助言はもちろん、ネクタイの質感などが伝わりやすいよう写真に工夫も

きょうのオススメ！